



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成27年10月30日

交流会で異業種間のつながりを強化

同友会・青友会合同交流会



同友会・青友会 合同交流会

青森問屋町経営同友会（同友会）と問屋町支店長・所長連絡会（青友会）の合同交流会が9月17日（木）、ホテル青森で開催された。交流会には、両会会員及び事務局職員合わせて50名が参加した。

合同交流会は、組合員の若手経営者および後継者で組織される同友会と、問屋町内の支店や営業所等の団地内責任者で組織される青友会の会員同士の親睦交流を目的に、昨年初めて開催され、今回で2回目となる。

懇親会では両会の会合で恒例となっている1分間スピーチを実施。自社の紹介や自身の趣味の話などを思い思いに語り、話し足りずに1分間の持ち時間をオーバーして強制終了される人もおり、会場は大いに盛り上がった。最後は、青友会の坪谷副会長（東日運送）所長の中締めで交流会は終了した。

今回の交流会を通じて異業種間のつながりがさらに強化されるとともに、組合活動の一層の活性化にも大きく寄与することが期待される。



歓談する参加者

現在の組合では、納涼パーティーやハロウィンパーティー等を開催し多くの参加者を集めているが、企業単位での参加が主で、企業の垣根を越えた交流には至っていない。また、企業の代表者からは、組合の新年会や委員会、青森問屋町経営同友会や問屋町支店長・所長連絡会で交流を深めているが、従業員が交流する機会には設けていない。昨年実施した事業計画アンケートでも、若手従業員の交流の場を求める声が多くあり、今回のパーティー開催に至った。

パーティーでは参加者全員が1人ずつステージに上がり30秒で自己紹介。席では料理やアルコールを楽しみながら親睦を深めた。席替えも2回実施し、なるべく多くの参加者と交流できるよう配慮。また、各テーブルには話のきっかけづくりとなるよう「話題

若手従業員の親睦交流

問屋町スタッフパーティー



参加者そろって記念撮影



問屋町スタッフパーティー

問屋町スタッフパーティーが9月11日（金）にホテル青森で開催され、組合員の20代〜30代の従業員ら30名が参加した。同パーティーは、問屋町で働く若手従業員同士が積極的に交流することを目的に、今回、初の試みとして開催された。

現在組合では、納涼パーティーやハロウィンパーティー等を開催し多くの参加者を集めているが、企業単位での参加が主で、企業の垣根を越えた交流には至っていない。また、企業の代表者からは、組合の新年会や委員会、青森問屋町経営同友会や問屋町支店長・所長連絡会で交流を深めているが、従業員が交流する機会には設けていない。昨年実施した事業計画アンケートでも、若手従業員の交流の場を求める声が多くあり、今回のパーティー開催に至った。

パーティーでは参加者全員が1人ずつステージに上がり30秒で自己紹介。席では料理やアルコールを楽しみながら親睦を深めた。席替えも2回実施し、なるべく多くの参加者と交流できるよう配慮。また、各テーブルには話のきっかけづくりとなるよう「話題

カード」を配付し、会話を盛り上げるのに一役買った。参加者の評判も概ね好評で、年数回開催を望む声もあった。組合では今回の参加者からの意見を参考に、今後の若手従業員を対象とした交流会の方向性を模索していく。

**共同物流センター照明等LED
改修工事の実施と承認**
第4回理事会

第4回理事会が9月28日(月)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは納涼パーティーや防災訓練、ビジネススクールの27年度下期カリキュラム等について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
一、事業委員会からの意見について

共同物流センター照明等LED改修工事の実施が承認された。
二、労務対策委員会からの意見

見について
第3回問屋町ハロウィンパーティーや第39回問屋町ボウリング大会の開催が承認された。

三、組合員の隣地買増及び脱退について

四、株式の譲渡について

五、関係先出資金の処理について

六、つなぎ資金の借入について

七、マイナンバーについて

八、新年会の開催について

九、平成27年度第5回理事会の日程等について

理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第2回取締役会も開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

**来年3月開業の
奥津軽いまべつ駅を視察**
公共施設等視察会

企画情報委員会(佐治委員長)企画の公共施設等視察会が9月29日(火)に開催された。今回は組合員ら20名が参加し、来年3月26日に開業する北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」を視察した。

はじめに、奥津軽いまべつ開業準備駅の石沢駅長の案内のもと、開業を間近に控え、急ピッチで工事を進める駅舎内を見学。青函トンネルをゲート風にデザインした入り口の昇降棟を上り、在来線や保守用線をまたぐように造ら



奥津軽いまべつ駅舎前で記念撮影



新幹線ホーム



非常時使用する避難デッキ

れた連絡通路を渡って236mあるホームへと進んだ。また、開業後は非常時にしか出ることのできない避難デッキも見学。参加者は、開業前に一足早く駅構内を見ることができ、貴重な機会を満喫した。駅舎見学後は今別町役場に

高度化事業(中小企業高度化資金制度)とは、中小企業者の共同による経営基盤の強化を支援するため、中小企業者が組合などを設立し、工場・店舗等の集団化や共同化を図る事業や、第三セクターなどが地域の中小企業者を支援する事業に対して、県が長期かつ低利の条件で資金を貸し付けるもの。

組合員の中小企業であれば、以下の表の内容で制度資金の活用ができるので、施設の新築・改修等の計画がある組合員は、利用検討をおすすめする。

場所を移し、今別町役場新幹線対策室の小野室長が今別町の概要を説明。
同町では新駅開業を迎えるにあたり、交通アクセスの整備に着手。新駅は町の中心部から約6km離れており、徒歩でのアクセスは困難なため、

駅には無料レンタサイクル(電動アシスト)設置やレンタルカーの営業所も開業予定。また、現行の町内巡回バスを新幹線ダイヤに合わせたダイヤ設定とコース見直しを行うほか、近隣地域などへのアクセス向上も積極的に進めている。

また同町では、伝統芸能である荒馬(あらま)まつりで町おこしを図っている。全国に輪が広がっており、祭りの時期(8月上旬)には全国各地から参加者が訪れ、民泊などし、町民との交流を深めている。

また同町では、伝統芸能である荒馬(あらま)まつりで町おこしを図っている。全国に輪が広がっており、祭りの時期(8月上旬)には全国各地から参加者が訪れ、民泊などし、町民との交流を深めている。

**高度化事業の
活用について**

貸付条件	内 容
対象企業	組合員の中小企業者
対 象 額	新築・移転・改修等 投資額の80% ※小規模事業者は投資額の90%
金 利	年0.65%(平成27年度金利) 固定金利
期 間	20年(3年据置 17年返済)
貸 出 先	組合員へ直接貸出
連帯保証人	組合員の役員
担 保	第1位順位：青森県及び協調融資先

※小規模事業者とは、常時使用する従業員の数が20人以下の企業。商業又はサービス業(ソフトウェア業及び情報処理サービス業を除く)については、常時使用する従業員が5人以下の企業。

新規組合員紹介

▽株式会社 アイサイン
本 社 青森市浪岡
代表者 石澤 暁夫
業務内容 広告業
所在地 第二問屋町四丁目2-12
TEL 729-18787

かねへい食品株式会社
代表取締役社長 齊藤 諭
青森市問屋町二丁目18-11 TEL (017) 738-4341

SINCE1906
●計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
●建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般・26)第15046号
電気通信工事業(青森県知事)許可(般・26)第15046号
衛星測量(GPS)・計量器全般・気象観測機器・理化学機器
測量機械・光波距離計・各種試験機・地震観測機器・製図用機械
青森 株式会社 **西衡器製作所**
本 社 〒030-0801 青森市新町二丁目6番20号 TEL (017) 773-1311 FAX (017) 723-2368
青 森 支 店 〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目2番30号 TEL (017) 739-9555 FAX (017) 739-9557
八 戸 支 店 〒039-1521 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL (0178) 21-8100 FAX (0178) 21-8101
弘 前 支 店 〒036-8093 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL (0172) 26-3890 FAX (0172) 26-3891

問屋町たんしん

①第39回問屋町ボウリング大会
日時 11月20日(金)
午後7時～9時
場所 イーストボウル
参加料 1人 1,800円



ボウリング大会(昨年の様子)

業務報告

主要事項

②フラワーアレンジメント教室
日時 11月19日(木)
午後6時30分～8時
場所 問屋町会館
参加料 1人 500円

9月
3日▽全国卸商業団地協同組合連合会事務局長会議(～4日)
6日▽第3回緑のボランティア隊
8日▽組合員昼食会
▽東奥日報社健康力アップ

10日▽第6回問屋町合同清掃
▽青森県雇用安定創出対策本部
11日▽第3回事業委員会
▽問屋町スタッフパーティ
14日▽善知鳥神社例大祭
15日▽金融審査会
17日▽第3回労務対策委員会
▽同友会・青友会第2回合同交流会
25日▽青友会第2回幹事会
▽北日本流通ヴァン(株)第

2回VANセンター打合せ会
27日▽フルーツバイキング
28日▽第4回理事会
29日▽公共施設等視察会
2日▽商業簿記3級取得講座②
9日▽営業研修(戦略編)
▽商業簿記3級取得講座③
12日▽中堅社員研修(フォローアップ)
15日▽総務管理の基礎の基礎
16日▽商業簿記3級取得講座④
30日▽商業簿記3級取得講座⑤

KOSEKI コセキ株式会社

- 【事業内容】
●医療機器・システム・ネットワークの提案・販売・施工・メンテナンス
●情報・映像システム等企画・提案設計・施工・メンテナンス
●各種イベント・展示会での映像・音響機材のレンタル

青森営業所:青森市問屋町2丁目20番5号 TEL:(017)738-4506
http://www.koseki.co.jp

営業品目

- パンフレット・ポスター・チラシ・ダイレクトメール・カタログ・カレンダー等
■チケット・商品券・証券等
■プログラム・記念誌・報告書・資料集・新聞・社内報等
■コンピューター用帳票類・一般事務用帳票類等
■各種封筒・案内状・挨拶状・名刺等
■オンデマンド印刷等
■Win・Mac各種データ作成・変換等

総合印刷 株式会社 誠五社
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目3番18号
TEL(017)729-1611(代)
FAX(017)729-1188

株式会社 誠五社

経済雑感 第七十三回

前号に引き続き、当組合の西理事長による経済雑感をお送りする。

「青森市の街づくり」(3回目)

青森市の様々な都市機能の適正な配置について、総合的に考えた場合の私見を述べたい。
まずは、主だった都市機能抽出してみる。市の主だった施設は、市役所庁舎、柳川庁舎、青森駅、アウガ、市民病院、市民美術館、中央市民センター等々。これらを見ると、老朽化や耐震不足等により建て替える必要がわかる。実際に現在市役所庁舎整備の計画や青森駅周辺整備の計画が進められ



青森総合卸センター 理事長 西 秀記

ていることから、それらの建て替えが喫緊の課題であることは明白だが、今ある古い建物をただ単にスクラップ&ビルドするのではなく、これからの人口減少、少子化、益々進む高齢化社会の到来を見据えて街のあり方を考え、それに合わせた公共施設の配置、規模、機能を決めて行く必要がある。もちろん古い建物であっても使えるものは使い、場合によっては用途や機能を変更(リノベーション)することも低コストかつ合理的な手法と言える。実際に他都市では、百貨店、商業施設、体育館等に大規模改修を施して地方自治体の庁舎として使う事例は少なくない。

また、建て替える必要が公共施設が複数ある場合は、それらを別々に建てるのではなく、一つの複合施設にするのも考えるべきである。今の青森市には、老朽化した公共施設が多数あることから、これを複合化する絶好のチャンスであり、そうすることによって公共施設整備にかかる費用を抑えることができる。

市民が集い交流するコミュニティ拠点としての評価が高い。
今後青森市は、周辺の町村とも連携し、その中核としての機能を担うこととなるため、交通のアクセシビリティの向上は重要な課題であるが、今後の高齢化が進んだ社会を考えた時には、マイカー以上に公共交通が重視され、特に青森市では、広域連携の中で青い森鉄道をはじめとする鉄道とバスの有効な活用方法を考えるべきである。

また、建て替える必要が公共施設が複数ある場合は、それらを別々に建てるのではなく、一つの複合施設にするのも低コストかつ合理的な手法と言える。実際に他都市では、百貨店、商業施設、体育館等に大規模改修を施して地方自治体の庁舎として使う事例は少なくない。

また、建て替える必要が公共施設が複数ある場合は、それらを別々に建てるのではなく、一つの複合施設にするのも低コストかつ合理的な手法と言える。実際に他都市では、百貨店、商業施設、体育館等に大規模改修を施して地方自治体の庁舎として使う事例は少なくない。

また、建て替える必要が公共施設が複数ある場合は、それらを別々に建てるのではなく、一つの複合施設にするのも低コストかつ合理的な手法と言える。実際に他都市では、百貨店、商業施設、体育館等に大規模改修を施して地方自治体の庁舎として使う事例は少なくない。

家庭用ストーブから大規模施設暖房システムまで環境対応型総合暖房機器メーカー

SUNPOT サンポット株式会社

青森営業所 青森市問屋町2丁目18番18号 〒030-0131
TEL(017)738-4141 FAX(017)738-5354
URL:http://www.sunpot.co.jp/



株式会社 小山商会 青森出張所

青森市問屋町一丁目14-5
TEL(017)728-5680 FAX(017)728-5681
本社 仙台市青葉区花京院二丁目2番75号(小山ビル)
TEL 022(265)9701(代) FAX 022(265)7615
支店 仙台・東京・名古屋・大阪
営業所 札幌・青森・盛岡・郡山・北関東・筑波
千葉・静岡・京都・岡山・福岡
工場 本社・札幌・関東・静岡・中部・関西

- 営業種目
総合寝具リース
病院用寝具
ホテルリネンサプライ
フードサービス

果物を思う存分味わう

問屋町フルーツバイキング

問屋町フルーツバイキングが9月27日(日)、青森市幸畑の青森観光りんご園で開催された。3回目の開催となる今回は、青森市勤労者互助会との共催で行われ、総勢57人が参加した。

当日は、りんご園の川村さんより収穫方法や食べ頃の見分け方の説明を受け、園内のりんご、梨、プルーンなどの新鮮果物を堪能。昼食のバーベキューでは、青森県産品のお肉や野菜、手作りクレープも振る舞われ、参加者はお腹を膨らませ大満足の様子であった。



フルーツバイキング

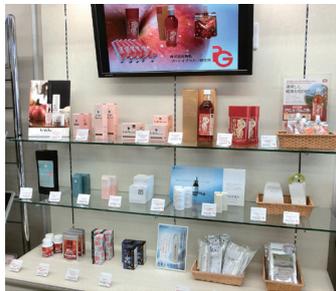
問屋町ストアに「アレツラPG」オープン

10月1日、組合員の(株)弘の協力のもと、プロテオグリカン専門店「アレツラPG」が問屋町ストア内に新設された。プロテオグリカン(以下PG)とは、サケの鼻軟骨に含ま

れる成分で、コラーゲンやヒアルロン酸に続く期待の成分。皮膚や軟骨への保水性、弾力性に効果を発揮し、青森県も産業化を推進する注目の新素材である。

(株)弘では弘前大学との共同開発によりPGを高純度かつ大量に精製する技術を確認。問屋町にPG抽出工場を構えるほか、PG商品専門店「アレツラPG」を県内に5店舗出店。主に化粧品や健康食品分野のPG配合商品を展開する。

今回、問屋町ストアに新設された専門店では、数あるPG配合商品の中から化粧品やりんご酢など22品目を販売。化粧品は一部テスターを用意しており、実際に商品を試し



問屋町ストア内の「アレツラPG」

てから購入することができるよう。また、今なら、購入者にはもれなくPG配合りんご酢ステイックタイプを1本サービスする。

来店者からは「青森市新町にあるお店のほかに取扱店が増えてくれてうれしい」と、評判は上々。

団地企業訪問

今年5月に新たに組合員となった、三菱電機システムサービス株式会社阿部所長にお話を伺った。

同社は、昭和52年4月に三菱電機の家電用電気製品、電気ホイス・標準モーター・電動工具等のアフターサービスを担当する技術サービス会社として設立。その後、取扱機種も増え、産業用電機品、映像・情報通信機器分野へと幅広く拡大し、平成24年に創立50周年を迎えた。現在では業務の内容も大きく変化し、従来のアフターサービスに加えシステム設計や機器設置等にも力を注ぎ、暮らしと社会をまると快適にするトータル



三菱電機システムサービス(株)青森サービスステーション所長 阿部 光世 氏

ルシステムソリューションを展開している。「当社では平成15年に、業界初の24時間365日の営業受付体制を導入しました。お客様への対応を最優先し、迅速で質の良いアフターサービスを行なっています。また人材創りにも力を入れており、アフターサービス研修や営業研修、施工技術研修等、充実した育成メニューで従業員のスキル向上を図っています」と話す。

業界の現状、今後の取り組み等について尋ねると、「昔に比べて品質が向上し、故障による修理作業は減少傾向にあります。保守点検やメンテナンスの品質を向上させ、お客様の満足度を

高めることで、より選ばれる企業を目指していきます。更に、三菱電機グループは、グローバル環境先進企業を目指し、製品やサービスによる環境「社会貢献」と環境影響を極小化する「体質強化」に取り組んでいます。当社においてもLED照明、高効率空調機器、エコキユート等の拡販や、産業用太陽光発電システム事業の推進、ビデオ会議システムの利用による乗り物の無駄なエネルギー削減等、環境活動を推進しています」と語ってくれた。

宮城県出身で、3月まで山形にいた同氏に青森の印象を伺うと、「青森県はとにかく海の幸が

おいしい、地図上で見るよりも意外と広い県だと感じました。そして、問屋町は高速ICの近くで交通の便が良く、いろいろなイベントも行っていですごく一体感がある団地だと思います。青森に来て困ったことは、方言があまり分からず、初めの内はちよつと怒っている風にも聞こえたりして戸惑いましたね」と苦笑い。

趣味について聞くと、「今は少しお休みしていますが、山形にいた頃はバンドを組んでいた。ドラムを担当していました。ゴルフも昔やっていたので、運動不足解消のためにも来年あたりから復活させたいとは思っています」と笑顔を見せた。

(44歳)

編集後記

九月は「問屋町経営同友会」と「問屋町支店長・所長連絡会」の第二回目の合同交流会と第一回目の問屋町スタッフパーティーの二つの交流会が開催されました▼一つは組合員の若手経営者&支店長・所長の交流会。もう一つは組合員の従業員間の交流会。いずれも今後の卸団地の一体性のベイスになるものと期待されます▼転話題。前号に続き「稼ぐまちが地方を変える」誰も言わなかった十の鉄則です▼前回に続き、鉄則③「一連托生」のパートナーを見つけよう」地域で何か新しいことを始めようとするとき初期段階では様々な軋轢や方向性をめぐっての意見対立があります。そんなときは信頼できる「血判状レベル」での少数の仲間が必須となるのです▼次の鉄則④「全員の合意」は必要ない」全員の合意にムダなエネルギーを注ぐより、自分で考えて自分で責任をとれる賛同者を募ることで。賛同者は「馬車」に乗る客ではなく、一緒に「リヤカー」を引く同志です。無諍論、進捗状況は公開し、透明性は担保しなければなりません▼次に鉄則⑤「先回り営業」で確実に回収」事業の立ち上げで失敗しないコツは、全てにおいて営業を優先することです。投資総コストから家賃を決めテナントを募集するというパターンは最悪です▼そうではなく、先にテナント営業を行い、テナントが決まった段階で、その事業形態や払える家賃から逆算して投資コストを割り出すのが、とるべき方法です▼この稿つづく

(藤本)

【 冬季 アミ戸保管 】

「お預かり期間中にメンテ」 ネット貼替え/戸車交換など 来春 お届けいたします

株式会社KGアンサンブル

【旧 工藤硝子株式会社 昭和28年創業】 〒030-0131 青森市問屋町1丁目5番11号 お問合わせは 0120-579-910 まで

雪華ひとひら 乳液 新発売 60ml 本体価格 4,000円+税 問合せ:東北化学薬品(株) 青森支店 TEL:738-4451 FAX:738-0278